

タイトル	参加支援事業 ひきこもり状態等の孤立を防ぐ社会参加・就労の仕組みづくり
解決したい課題内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり状態の人等が社会とのつながりを持てるよう社会参加の場を提供する。 ・企業等で社会経験の乏しい人を受け入れるための負担（人材や財政面）があり、軽減するための仕組みが必要であること。 ・短時間勤務が可能な職場が地域に乏しいこと。 ・コミュニケーションに苦手意識を抱える人や、社会参加に不安を抱えている人が社会参加できる仕組み。 ・社会から孤立をしている人が収入を得て安心して暮らせる仕組みづくり。 ・通勤の利便性問題や車を所有していない人の対応。
課題に対する現在の取組	<p>本市では、社会福祉協議会へ参加支援事業を委託しており、ひきこもり状態の方や生きづらさを感じている方等が、それぞれの持つ役割や居場所を見つけ、社会とのつながりが持てるようサポートをしております。その1つとして、企業や事業所等に協力を頂き、就労の場を提供して頂けるよう周知を行っています。今後についても、企業、事業所と連携し、その人の特性に合った就労を提供していきたい。</p>
提案者側に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり状態、コミュニケーションに苦手意識のある人などが安心して参加できる場の提供。 ・交流を通じて自己肯定感の向上やスキル習得を促進する工夫。 ・働く時間や場所に制約がある人も参加しやすい職場の創設（短時間勤務、テレワークなどの導入）。 ・社会経験が少ない人を受け入れやすいサポート体制の構築。 ・交通手段が限定されている人でも移動が可能となる仕組みや、

	<p>地域密着型の雇用機会の創造。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や事業所が持つ資源を活かした社会参加支援プログラムの立案。 ・社会経験が乏しい人を受け入れる事業者への負担軽減策の提案 ・地域全体で孤立対策に取り組むための仕組みづくりへの具体的な提言。 ・孤立者を雇用やコミュニティ活動に繋げる方法が継続的に運用・発展する仕組みの提案。 <p>課題に対し、市と連携しながら実行可能かつ地域の実情に合ったアイデアを提示いただくことを期待します。また、課題を抱える人々がより安心して社会参加できる環境を提供できるよう、柔軟な発想と具体的な解決策を積極的に提案して欲しい。</p>
現時点の予算状況	予算措置なし